

第2回  
組合員交流集会



チェアヨガでリラックスする参加者



# 医療生協は 「人と人が結びついてできた組織」

## しが健康医療生の 活動報告2題

サークル活動の  
大切さ



草津北支部  
野添 正一

湖南甲賀支部の  
「乗り合いバス運動」



湖南・甲賀支部  
立入 善治

### 今井さんの話で元気が湧く

草津北支部・三上さん

5つのサークル活動の立ち上げについて、野添さんが報告されましたが、こうした人が医療生協に沢山必要だと思つとともに、医療福祉生協連の今井さんの話を聞いて元気が湧いてきました。

こびらいのリニューアル計画は、組合員だけでなく地域の方も含めた取り組みが必要で、子どもから高齢者まで全世代を巻き込んで、考える必要があると思ひました。もっと多くの組合員さんに参加していただきたい。

### 栗東支部の班を10班以上に

栗東支部 福場さん

支部の活動を振り返りながら、

お話を聴かせていただきました。「幅広い組合員の参加」を活動の柱にしているのが、学ぶことが多くありました。班づくりがなかなか進まない中、班が基礎組織であることを再認識して10以上の班をめざしたいと思ひました。

「健康チャレンジ」は、組合員の10人に1人の100人をめざしたいです。班が増えれば可能になると思ひます。組合員以外にも働きかけることが重要です。これからの活動方針づくりに活かします。

### 班・支部の役割が大切

草津東支部 片山さん

学習講演での医福連の今井常務理事の話では、現在の日本は、世界でも高齢化率が高く65歳以上が3623万人(総人口の29%)は、過去

最高を更新して世界第1位で、2位イタリア(24.5%)の位フィラード(23.6%)を大きく引き離し、突出しているとの報告でした。しかも80歳以上1259万人は総人口の10.1%を越え10人に一人が80歳以上の日本。さらに2040年には3928万人は総人口の34.8%との報告は、超高齢化社会(私もその一人です)に突き進んで行くことを実感しました。

誰もが安心して長生きできる社会を目指すためにも医療生協の活動の基本でもある、班・支部の役割が大切だという事を学びました。

### 医療生協活動に確信を持つ

湖南・甲賀支部 立入さん

今井常務理事のお話を聞いて、医療生協の活動に確信を持つことが出来ました。同時に私の考えていた医療生協活動に、少し違いがある事にも気づかされました。

生協活動において「誰もが長生きできる社会、『健康づくりの活動』が中心となる取り組み」などを大切に進めることや、医療生協が「人と人が結びついてできた組織」という事を、改めて学習しました。